



12/10

長年の功績がたたえられ 令和7年度社会福祉功労者知事表彰受賞

11月28日に、第75回山形県民福祉大会が開催され、社会福祉法人白鷹会愛真こども園の松岡留美子さん(荒砥乙)が、社会福祉功労者知事表彰を受賞され、その報告に来庁されました。

これは、社会福祉事業に長年従事され、その功績が特に顕著である方に贈られるものです。

松岡さんは、こども園での給食業務に従事され、野菜づくりや郷土料理に触れる機会も創出するなど、食の面からの保育の向上にご尽力なされてきました。

このたびの受賞、誠におめでとうございます。



▲賞状を手にする松岡さん(左)

12/11

長年の功績がたたえられ 令和7年度援護事業功労者厚生労働大臣表彰受賞

このたび衣袋捷二さん(畔藤)が、援護事業功労者厚生労働大臣表彰を受賞されました。

これは、戦傷病者や戦没者遺族等に対する援護事業に永年従事され、その功績が特に顕著である方に贈られるものです。

衣袋さんは、白鷹町遺族会の会長等を歴任され、援護活動を献身的に行いながら遺族の親睦を図るとともに、戦争体験の風化を防ぎ平和を守る活動にご尽力なされてきました。

このたびの受賞、誠におめでとうございます。



▲賞状を手にする衣袋さん(右)

12/18

税金の大切さを伝える 「税についての作文」表彰式

「税についての作文」は、中学生の皆さんに、税に関することをテーマとして作文を書くことで、税に対する関心や理解を深めていただくことを目的に、国税庁および全国納税貯蓄組合連合会が共催で実施しているものです。

このたび、長井税務署長賞に沼澤絆さん(白鷹中1年)、白鷹町長賞に山川夏惟人さん(白鷹中1年)が選出され、この日、白鷹中学校にて表彰式が行われました。お二人とも、税金が暮らしの安全を守っていること、税の大切さをうまくまとめられていたことが評価され、受賞となりました。

誠におめでとうございます。



▲賞状を手にする沼澤さん(左)と山川さん(右)



12/6

健康の「いろは」を学ぶ

白鷹町元気ニコニコ健康まつりを開催

町の子育て、健康づくり、多世代交流の新たな拠点として生まれ変わった健康福祉センターのグランドオープンを記念して、この日、セレモニーと元気ニコニコ健康まつりが開催されました。

町内の保育園・こども園の園児らが素敵な歌と踊りでオープニングを飾り、耳の聞こえチェックや無料ジム体験をはじめ、カフェを併設した町民交流スペースのお披露目やおいしいものマルシェなど、目白押しのイベントを求めて大勢の方が来場しました。

いつまでも元気であるための健康づくり、そして地域の交流の場としてぜひご活用ください。



◀タニタ健康セミナーの様子

▼親子で楽しくお菓子作り
荒砥高校のボランティアの皆さんも頑張ってくれました



12/6

研修生を受け入れ町内就農に貢献

紺野伊久雄さんが山形県ベストアグリ賞を受賞

山形県では農業の振興・発展を目的に、地域の環境を活かし優れた経営等を実践している先駆的な農業者の表彰を行っています。

このたび、県内でも先駆けて取り組んだミニトマト栽培を中心とした周年農業を実現し、県内外から多くの研修生を受け入れ、新規就農者の早期定着・定住による担い手の確保や地域雇用の創出による地域への貢献が高く評価され、合同会社紺野農園の紺野伊久雄さん(畔藤)が山形県ベストアグリ賞を受賞しました。

受賞、誠におめでとうございます。



▲賞状を手にする紺野さん

12/6

持続可能な社会を考える

白鷹町環境フェア 2025 を開催

この日、「白鷹町環境フェア 2025」が白鷹町文化交流センターあゆーむを会場に開催されました。

フェアは、持続可能な社会の実現を目指し、環境負荷の低減に向けた大切な取り組み「4R」のテーマを中心に実施されました。「Refuse(断る)」「Reduce(減らす)」「Reuse(再利用)」「Recycle(再資源化)」の考え方で、ゴミの排出量を削減し資源の効率的な活用を進める重要性について知るブースを設置。来場者の皆さまは楽しみながら学び、家庭で取り組める簡単な「4R」のアイデアを実践的に学ぶ機会となり、私たちができる地球環境を大切にする一歩について考えるきっかけになりました。



▲参加した皆さんで記念写真